

昨年1年間の道南の交通事故による死傷者は1700人で、その75%は函館市と市近郊でした。事故を全減させることは不可能としても、私達は先ず死亡者を無くし、次に歩行者の被害を無くすることに目標をおき、私達で出来ない面を関係の方々に御協力をお願いしている次才です。死亡者は68名あり、うち12名は自損行為で、5.14%は歩行者でした。怪我も歩行者が多くて673名あり、全事故の41%を占め、全道平均の38%及び全国平均の33%を上回ります。従つて私達は重点的に歩行者の保護指導をやっております。二車輦1000台当りの事故数は全国の38に対して道南は22、又人口1万当りの死傷者は全国の45に対して道南は28でした。然し道南でも年々20%宛車輦がふえていますから、今年は2000件の被害者が予想されます。

今年の交通行政で中央の方針として次のように内定しています。先ず単車に乗る者には必ずヘルメットをかぶせるようにします。ダンプカーは免許年齢を18才から21才に引きあげ、経験を2年以上とします。道南の大型車の事故は520件でしたが、その殆どの450件はダンプ側に怪我無しか或いは軽微な怪我で、対手側により大きな被害を与えています。又国鉄との踏切安全委員会が出た話題に、ディーゼルカー1両ならダンプに負けるとありました。ダンプカーに乗ると自分はやられる心配が無く、お城に入っているような甚だ危険な優越感を持つそうです。なおダンプに対しては6m半以下の道路への乗入れ禁止又は時間制限、通学通勤道路、市場等への買物道路、繁華街への乗入れ制限をする等、色々研究し作業をすすめています。又法を改正し、横断歩道を渡ろうとする歩行者を認めて前の車が止つた場合、後の車がわからずに追い越す危険を避けるため、これをはつきり禁止する予定です。

更に今年の大きな問題として、従来交通事故は前科として戸籍にのりませんが、全国で2100万人の運転者がいる現在では、前科者が莫大な数になつてゆきます。従つてこれをやめ、別に反則金制度をつくり、郵便局等に反則金を納めれば前科にならないようにする方法が研究されています。

交通安全については皆様大いに御関心を持つていただいていることを感謝します。御気付きの点、御意見等あらばどしどし御申し出下さい。

◆ 出席報告

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 本日の状況 | 会員数28名 出席22名 欠席6名 |
| 2. 前回の確定出席率 | 82.76% (29名中24名出席) |
| メークアップ | 市川君 |
| 欠 席 者 | 宮崎君 野村君 杉本君 高杉君 塚田君 |
| 3. 12月平均出席率 | 78.45% |



- ◆ 司 会 成田副会長 ◆ 齊 唱 手に手つないで
- ◆ ビジター 高橋六郎君(豊橋南 綱及熱糸製造)
岡田小治君(土別 酒類販賣)
笹岡軍平君他8名(函館) 田沢繁吉君他3名(函館東)

◆ 成田副会長報告

今宮会員がこのたび東京本社に御栄転になりました。当クラブにとつて非常に寂しい反面、函チヨンが解消し御栄転されるのは喜ばしいことです。

◆ 幹 事 報 告

1. 例会終了後理事、職業分類及び会員選考の委員長さんはお残り下さい。
2. 久留米RCより「入社の葉」の見本が来ました。1部30円です。
3. ビジターの高橋さんから豊橋南のバナーをいただきました。
4. 小岩さんの御餞別を募ります。袋を回しますのでお入れ願います。

◆ 退 会 換 拶

今宮 信雄君
39年4月に着任し、早々に北クラブのチャーターメンバーに入れていただきました。30名で少ないと言われながらも、親睦の点では本当に良いクラブであつたと思いますし色々な仕事の方と接することが出来て実に楽しく、私にとつて永い思い出になるでしょう。皆様どうぞ御健康にてクラブ発展のため御活躍下さるようお願いいたします。東京は大手町ビル6階に本社がありますので上京の節は是非お立ち寄り下さい。

◆ スライド映写

“我等の雑誌 — 友愛の冒険”

(Our Magazine Adventure in Friendship)

シンガポールの近くにボンゴルという小さな村があります。その村は昔は非常に貧困でしたが、今は見違えるように良くなりました。何故でしょう。それは1953年のある日、162部の雑誌がシンガポールに送られたことに始まります。そのロータリアン達は先ず村にセンターをつくりました。それが学校になり、若人のクラブに発展し、村を良くするセンターとなつて活躍しました。雑誌には社会を良くするための有益な記事が沢山掲載されており、その記事がロータリアン達を刺戟したのでした。

かつてポール・ハリスが、自分の考えを会員に伝える道があれば、と述懐しました。そして事務総長と発行物の可能性について検討し、1916年1月に始めて“The National Rotarian”が発行されました。次いで

1921年の大会では「ロータリーは公式刊行物を持つべし」と決議され、「The National Magazine」が発刊され、その後雑誌は立派に成長してゆきました。現在R.I.には多くの公式刊行物があり、全世界の多くのロータリアンに読まれています。雑誌はロータリーの偉大なる伝道機関であり又深い果てしない影響力を与えるものです。皆さん、しばし威儀を正してこの素晴らしい雑誌一友愛の冒険をお読み下さい。

出席報告

1. 本日の状況 会員数28名 出席24名 欠席4名
2. 前回の確定出席率 89.29% (28名中25名出席)
 メークアップ 青柳君 神原君 山形君
 欠席者 成田君 布目君 山内君
3. 他クラブの状況 函館90.75% 函館東97.04%

函館ラ・サール学園高等学校インターアクト・クラブ認証状伝達式

1967年1月21日午後3～5時 於五島軒本店

1. 開式のことば 函館RC幹事 谷森之助君
2. 斉唱 君が代 奉仕の理想 インターアクト・クラブの歌
3. スポンサー・クラブ会長挨拶 函館RC会長 四倉太郎君
4. 認証状伝達
5. インターアクト・クラブ結成経過報告 諮問委員長 勝木鉄雄君
6. インターアクト・クラブ会員紹介 函館東RC会長 森岡勝君
7. クラブ旗、バッチ、点鐘贈呈 函館北RC会長 飯田神生君
8. 祝辞 釧路オ一高校IC中西会長 渡辺分区代理 寿原バスト・ガバナー(代読) 小畑ガバナー・ノミニー 吉谷函館市長
 祝電 岡田ガバナー 寿原地区インターアクト諮問委員長 札幌商高、旭川西高、釧路北高、帯広北高各IC
9. 挨拶 函館ラ・サール高等学校長(代理 教頭プラザー・アンマン氏) インターアクト・クラブ会長 武者主信君
10. 函館ラ・サール学園高等学校校歌
11. 祝宴
12. 万才三唱 オ一分区代理 渡辺綱彦君
13. 斉唱 手に手つないで
14. 閉式のことば 函館RC副会長 泰良平君
15. 記念撮影



1967年1月25日
函館北ロータリークラブ

Weekly Report of Hakodate North R.C.

第133回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30～13.30

本日のプログラム 卓話 日銀函館支店長 秋田克彦氏

- 司会 飯田会長 斉唱 奉仕の理想
 ビジター 中川和行君(岐阜西 変流変圧装置製造)
 藤井武次君(札幌東 製紙)
 宮崎正雄君他10名(函館) 出村喜作君他5名(函館東)

会長挨拶

「ガバナー月信」第8信に「新年と自己反省」と題するエヴァンス会長の年頭のことばがあります。その才3節に、「私たちは、坐して奉仕への呼びかけを待つてはいけません。私たちが、何をなすべきかを知つたら、坐して待つのではなく、あるべき姿になり、なすべきことをなし始めねばなりません。どんなことでも、おのずから出来上るといふものではありません。誰かが、いろいろなことをしなければならぬのです。然し只一度だけ善をなしても充分ではありません。奉仕の必要性には限界がないのです。」と述べています。

私はこの言葉を噛みしめる時、意余つて力これに伴わず、まだまだしなければならぬことを、十分にし尽してないことを深く反省致します。皆様の御協力を賜わり、今後充分に果してゆきたい所存でございます。なお先週の出席率が100%であつたのは誠に喜ばしいことであります。

富田元特別代表挨拶

只今飯田会長さんより先週の出席率が100%であつたとの報告を承わり、誠に同慶の至りです。北クラブもいよいよ本年で4年生になつたのですから、内部の充実を図り、会員を増加して60名程度の立派なクラブに発展していただきたいと存じます。

幹事報告

1. 「ロータリー奨学生」の受入について

さきにお話ありました奨学生の受入状況は、東クラブで3名決定致しました。北クラブでも2、3日中に取りまとめたいので御申出願います。